

第2回横幹連合コンファレンス

実行委員長 榎木 哲夫(京都大学)

プログラム委員長 椿 広計(筑波大学)

歓迎のごあいさつ

信州長野の地での第1回横幹連合コンファレンスの開催から2年、「コトづくり長野宣言」の採択を受け、その後連合としてどのような活動が展開されてきたのかについて、ならびに参加学会で展開されてきた独自の取組みをご披露頂く機会となります。この第2回横幹連合コンファレンスです。本連合の単独開催によるコンファレンスとしては初の試みとなります。

前回コンファレンス以降、2006年からの第三期科学技術基本計画では、知の統合とその活用による科学技術イノベーション創出の体制を科学技術システムとして整えることの必要性が強調されてきています。そこでのイノベーションは、「科学的発見や技術的発明のみならず、これを人間の洞察力と融合することで発展させ、新たな社会的・経済的価値を生み出す革新」として定義されています。MITのLester教授は、著書「Innovation--The Missing Dimension」において、イノベーションについて、アナリシス(分析)とインタープリテーション(解釈)という対比を行っており、前者として従来の要素還元による問題構造の明確化とその解決のスタイルを、そして後者としてインタラクティブなコミュニケーションを通じてお互いに価値を発見することであると述べています。言うまでもなく、真の知の統合のためには、個々の研究者の自主的で自由

な研究活動を基盤とした活発な領域間対話と緊密な情報交換が不可欠であり、複数の専門分野の相互乗り入れにとどまらず、より徹底した諸科学の共同による真理の探求を目指さねばなりません。

本コンファレンスでは、横断型技術研究に携わる研究者が、学会の垣根と境界を超えて一同に会し、それぞれの学術分野の共通性と独自性を明らかにして参ります。共有理念なきところに真の統合はあり得ません。理念を共有し、それに対する個々の研究者・技術者の自由・自主的な解釈が生み出されていくことこそが、真のイノベーションに繋がります。このような趣旨から、本コンファレンスでは、大会テーマとして『異分野をつなぐ知のシナジー』を掲げました。会期中には横幹連合に参画する全学会長と横幹協議会とで学術や産業のイノベーション推進に関する京都宣言を採択する予定で準備が進められています。その他、今回のコンファレンスでは、横幹学術の全体像や意義をニーズやシーズ面から明らかにしようとする数多くの講演が採択されました。会員学会会員のみならず、産業界の方々とともに、横幹学術が目指す「コト」についてそれぞれの思いを熱く語るとともに、横幹連合の今後について晩秋の古都でじっくりと考えてもらう機会として頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ち申し上げております。

第1日目(11月29日(木))

第I室	第II室	第III室	第IV室	第V室
9:00				
開会式(百周年記念ホール)				
9:30 イノベーションとマネジメント(1): 経営工学関連学会企画セッション パネル討論	横断型人材育成の推進: 横幹連合横幹型 人材育成研究会企画	横幹連合の社会責任 「医薬品インタフェース」: 医薬品インタフェース研究会企画	計測自動制御学会 SICE City 研究部会 企画セッション	認知科学・情報科学・ 統計科学・ ナレッジマネジメント の方法論(1)
横幹連合の社会責任 「安心と安全の実現(1)」: リスク研究ネットワーク共催			横幹研究開発(1)	
12:30				
昼休み (会長懇談会: 工学部8号館 2階 中会議室)				
13:30 イノベーションとマネジメント(2): 横幹連合企画セッション 基調講演2件	横断型人材育成の推進 横幹型人材の倫理責任	横幹連合の社会責任 「安心と安全の実現(2)」: リスク研究ネットワーク共催	様々な知の様式の融合	コトづくりの理屈 横幹研究開発(2)
ヒューマンインタフェースのフロンティア: ヒューマンインターフェース学会企画		コトづくりとしてのものづくり新論 - JITを越えて		
17:00				
特別講演:「生きるということ」と「生命というもの」 木村 敏 氏 (京都大学名誉教授・河合文化教育研究所主任研究員)(百周年記念ホール)				
18:00				
京都宣言発表(百周年記念ホール)				
18:20				
懇親会: 京都大学医学部キャンパス構内 紫蘭会館 山内ホール				
20:30				

第2日目(11月30日(金))

第I室	第II室	第III室	第IV室	第V室
9:00 知の交流による イノベーションに向けて: 横幹ロードマップ活動報告 パネル討論 特別セッション講演2件	横幹研究開発(3)	横幹学術による 科学技術開発加速(1)*	システム工学と ナレッジマネジメントの融合	横幹連合の社会責任 「定量的リスク科学を目指して」: リスク研究ネットワーク共催
12:30				
昼休み				
14:00 コトのガクとしての ソフトシステム方法論	横幹研究開発(3) ヒューマンインタフェース 学会企画セッション	横幹連合シミュレーション とSQC研究会報告*	認知科学・情報科学・ 統計科学・ナレッジ マネジメントの方法論(2)	横幹研究開発(4)
	第1部 我が学会の目指す社会責任 第2部 ヒューマンインターフェース学会を代表する研究 第3部 ヒューマンインターフェース学会若手研究	横幹学術による 科学技術開発加速(2)*	横幹連合の社会責任	
18:00				

\* 科研費基盤研究(A)技術開発加速のための新たな統計科学体系の構築共催  
※セッションの詳細はホームページ(<http://www.trafst.jp/conf2007/>)を御覧下さい。